

1. 科目名 (単位数)	家庭科指導法 (2 単位)	3. 科目番号	EDEL3319 SJEL3433
2. 授業担当教員	杉山 憲江		
4. 授業形態	講義、演習、プレゼンテーションなど	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	教科「家庭」と密接な関連性を持つ科目であることを理解し習得することが望ましい		
7. 講義概要	生活の営みに係る家庭科の教科としての意義や、小学校家庭科の目標、内容と全体構造、基礎的な学習指導理論に基づいた指導方法などについて、平成 29 年告示の最新版をもとに教授する。さらに実際の家庭科学習の在り方を、具体的な学習指導計画や学習指導案などの作成を通して、実践的に検討し提案する。		
8. 学習目標	1. 小学校家庭科の特質とその役割を知り、指導対象となる児童の生活実態や家庭科学習に関する背景的要因などを理解する。 2. 小学校家庭科の授業計画を構想し、具体的な学習指導計画や学習指導案、授業展開、評価などができるようにする。授業設計に際し、家庭科の特性を活かした情報機器及び教材の効果的な活用法を工夫する。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	課題 1 個々に題材構成を工夫し単元学習指導計画案を構想して、学習指導案を作成し発表する。 課題 2 学習指導案を基に模擬授業を行い、授業工夫について学びあう。 課題 3 「社会変化に対応した小学校家庭科授業づくりについて」 論述文を作成する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】長澤由喜子編著『小学校 新学習指導要領の展開 家庭編』明治図書 2017 年 文部科学省『小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 家庭編』東洋館出版社。H30 年		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 小学校家庭科の特質とその役割を知り、指導対象となる児童の生活実態や家庭科学習に関する背景的要因などを理解しているか。 2. 小学校家庭科の授業計画を構想し、具体的な学習指導計画や学習指導案、授業展開、評価などができるか。授業設計に際し、パワーポイントなどの情報機器や教材の効果的な活用法を工夫しているか。 ○評定の方法 授業態度 30% 提出物(模擬授業など演習課題を含む) 70%		
12. 受講生へのメッセージ	変化の激しい今日の社会において「家庭科教育」を通し、子どもたちに生きる力を育てていくための指導法など専門的知識や技術の獲得をめざしながら、教師としての思考力・創造力・問題解決能力を高めるため、自己研鑽に励むことを望みます。模擬授業の構想・作成など授業への積極的な参加態度を期待します。特に、課題に対する意見や指導案発表や模擬授業に対し意欲的な発言を心がけてください。		
13. オフィスアワー	授業内(初回授業)にて周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション (学習日程や模擬授業の方法・評価などシラバスの説明) 社会変化に対応した小学校家庭科授業づくりについて 社会変化における子どもたちの実情や家庭生活変化について話し合いを通して把握する。	事前学習	シラバス・学習準備について書き込める予定表を準備し臨むこと。
		事後学習	現在の社会変化が家庭生活にどんな影響を与えているのか授業を通して理解したポイントをまとめておく。
第 2 回	小学校家庭科で培いたい資質・能力とは 小学校家庭科の基礎基本について現代社会の急速な変化部分に目を向けディスカッションを通して小学校家庭科教育で培いたい資質・能力を明らかにしていく。	事前学習	学習指導要領解説 pp.1~10 を再度読んで授業に臨む。
		事後学習	小学校家庭科の基礎基本とは何か、どのような資質を身につけさせたいかまとめておく。
第 3 回	小学校家庭科の教科の目標と学習内容 1 (指導計画のたて方) 小学校学習指導要領 H29 年告示内容の理解と家庭科教育の変遷の概略を学ぶ。 評価方法について	事前学習	「新学習指導要領解説家庭」の小学校家庭科における資質と能力を読んで授業に臨む。
		事後学習	H29 年告示学習指導要領における教科目標・学習内容項目について再度理解しておく。
第 4 回	学習指導案作成 1 題材構成の工夫について ・教科の目標と学習内容の工夫 ・学習指導案における児童観・題材観・指導方針の書き方について実践例などを基に学ぶ。	事前学習	学習指導要領解説 p.11 の学習内容区分を基に題材構成を工夫した単元を構想して授業に臨む。
		事後学習	教科目標や学習内容構成にあった単元を構想するところまで見直し仕上げておく。題材観・指導方針の提出
第 5 回	学習指導案作成 2 単元指導計画・題材構成 ・家庭科における実践的な態度の育成 ・単元全体の計画の立て方を学び、自分なりの構想を表現する。	事前学習	単元指導計画を作成するための資料研究をして授業に臨む。
		事後学習	単元指導計画を構想するところまで見直し仕上げておく。
第 6 回	学習指導案作成 3 単元計画の学習の中に総合的な学習の時間・道徳・他教科の関連などが組み込まれているか 指導計画における配慮事項など適切に表現されているかなど見直し仕上げていく。	事前学習	教科書の家庭科指導の授業展開例について読んで授業に臨む。
		事後学習	授業例を基に指導計画の見方と書き方を理解する。単元指導計画の指導支援の留意点など推敲しておく。 単元指導計画案の提出

第7回	学習指導案作成4 本時の学習の作成 ・単元指導計画における本時の位置づけ ・本時の展開 ・ねらいと評価（見取りの方法など）		事前学習	本時の展開について構想しておき、授業に臨む。
			事後学習	家庭科学習指導案を仕上げ提出する。
第8回	学習指導案発表と模擬授業1 ・学習指導案の発表と説明。 ・発表しあう中で質問や気づいたことなど発言し合う ・授業の工夫について学びあう。	予想される小学生の行動で模擬授業に参加する	事前学習	学習指導案の発表と模擬授業の準備をする。受ける側の場合は指導案の内容理解をして授業に臨む。
			事後学習	発表者は指導案・模擬授業を振り返って自己評価・相互評価・学んだことをまとめ提出する。
第9回	学習指導案の発表と模擬授業2 ・個別学習により作成した学習指導案を発表と説明。 ・発表しあう中で質問や気づいたことなど話し合う。 ・授業の工夫について学びあう		事前学習	学習指導案の発表と模擬授業の準備をする。受ける側の場合は指導案の内容理解をして授業に臨むこと。
			事後学習	発表者は指導案・模擬授業を振り返って自己評価・相互評価・学んだことをまとめ提出する。
第10回	学習指導案の発表と模擬授業3 ・個別学習により作成した学習指導案を発表と説明。 ・発表しあう中で質問や気づいたことなど話し合う。 ・授業の工夫について学びあう		事前学習	学習指導案の発表と模擬授業の準備をする。受ける側の場合は指導案の内容理解をして授業に臨むこと。
			事後学習	発表者は指導案・模擬授業を振り返って自己評価・相互評価・学んだことをまとめ提出する。
第11回	学習指導案の発表と模擬授業4 ・個別学習により作成した学習指導案を発表と説明。 ・発表しあう中で質問や気づいたことなど話し合う。 ・授業の工夫について学びあう。		事前学習	学習指導案の発表と模擬授業の準備をする。受ける側の場合は指導案の内容理解をして授業に臨むこと。
			事後学習	発表者は指導案・模擬授業を振り返って自己評価・相互評価・学んだことをまとめ提出する。
第12回	学習指導案の発表と模擬授業5 ・個別学習により作成した学習指導案を発表と説明。 ・発表しあう中で質問や気づいたことなど話し合う。 ・授業の工夫について学びあう。	第9回～第15回 ・学習指導案の発表と模擬授業による学び(個別発表)	事前学習	学習指導案の発表と模擬授業の準備をする。受ける側の場合は指導案の内容理解をして授業に臨むこと。
			事後学習	発表者は指導案・模擬授業を振り返って自己評価・相互評価・学んだことをまとめ提出する。
第13回	学習指導案の発表と模擬授業6 ・個別学習により作成した学習指導案を発表と説明。 ・発表しあう中で質問や気づいたことなど話し合う。 ・授業の工夫について学びあう。		事前学習	学習指導案の発表と模擬授業の準備をする。受ける側の場合は指導案の内容理解をしておく。
			事後学習	発表者は指導案・模擬授業を振り返って自己評価・相互評価・学んだことをまとめ提出する。
第14回	学習指導案の発表と模擬授業7 ・個別学習により作成した学習指導案を発表と説明。 ・発表しあう中で質問や気づいたことなど話し合う。 ・授業の工夫について学びあう。		事前学習	学習指導案の発表と模擬授業の準備をする。受ける側の場合は指導案の内容理解をして授業に臨むこと。
			事後学習	発表者は指導案・模擬授業を振り返って自己評価・相互評価・学んだことをまとめ提出する。
第15回	学習指導案の発表と模擬授業8 ・個別学習により作成した学習指導案を発表と説明。 ・発表しあう中で質問や気づいたことなど話し合う。 ・授業の工夫について学びあう		事前学習	学習指導案の発表と模擬授業の準備をする。受ける側の場合は指導案の内容理解をして授業に臨むこと。
			事後学習	発表者は指導案・模擬授業を振り返って自己評価・相互評価・学んだことをまとめ提出する。
期末試験				